

# ごとう通信

第 231 号

令和 2 年 3 月 1 日

なんだか落ち着かないですねえ。寒い冬が終わり、待望の春が来るというのに…。冬もそんなに寒くなく、ぽかぽかとした日が続き、コロナウイルスによる全国一斉自粛ムード。僕自身も呼ばれていたイベントが6本キャンセルになり、充実感に乏しい感じです。そんな中ですが、今年は早めに桜も咲いてくれるでしょうし、その頃に自粛ムードから解禁されていけば雰囲気も盛り返すでしょう。期待しておきましょうね。

さて、先月、地域活動をされる方たち対象の講習を受け持つことがあり、「努力とは何か？」といったテーマで考えてもらいました。例えば、野球



0 回も会議しています」と自慢げに言う方もいますが、何のための会議でどれくら

少年が、「努力しています。毎日1000回素振りしています」と言ったとします。では、1000回の素振りで得られる効果は何でしょうか。多少の体力向上と偏った腕力、そして手のマメぐらいでしょうか。逆に140キロの球を打ち返すためには何をすべきか？から考えると、速い球に目を慣らすことかもしれないし、速い球に負けない腕力かもしれないし、速い球がいつ来るのか考える頭かもしれない。やみくもにやることは無駄だということ。地域によっては「年1

いの成果を上げたのが重要です。一番ひどい例は日本の英語教育。英語を学ばせる前提しかなく、その英語で何をさせたいのかというビジョンはありません。

僕たち昭和世代はとにかく勉強時間を長くしろ、根性だ！うさぎ跳びだ！（トレーニングと言えばうさぎ跳びという時代があったんです）などと意味不明な言葉で育ってきました。さすがに令和時代、しっかりと目標設定をして効率的に成果を出す時代になって欲しいですね。

## 実証実験

今回のコロナウイルス騒動はともかくとして、それに対して様々な対応があり、問題点も出てきました。こ